

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホーム なごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会への加入がある。回覧板を通じて地域情報の収集、地域の一員としての関係性を深めている。民生委員とは何かあれば相談できる関係性であり、町内の秋祭り時は時間の調整を図り、ホーム前に獅子舞や神楽が来て、住民との交流を図る事ができた。近隣小学校のこども110番の受け入れ先になったり、地域消防団と協働関係を深めたりと、地域に根差した活動を行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、いきいき支援センター職員、家族代表を構成員として、年6回の推進会議の運営を行った。コロナ感染対策で主には書面での招集、郵送にて運営状況の報告、意見交換をして連携を図った。うち1回は構成員参加の会議を実施し情報交換、意見交換をして相互の連携を深めた。コロナ禍での運営事情を伝え、支援の困難な状況を共有し理解を深める事ができた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区生活保護課担当者とは、窓口に向く際や利用者面会に来所した際に直接話をする機会を持ち、相互に関係性を深めている。市町村主催の研修の案内が郵送やFAXで届き、職員育成に役立っている。港区介護事業者連絡会に構成員として会議の参加、メールでの情報交換等のやりとりを通じて協働関係を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「なごみの里たより」は毎月発送され、利用者の生活ぶりを写真やコメントを寄せて周知している。家族とは面会時や電話やSNSを活用して、現況報告市家族への安心や信頼に繋げている。家族や利用者の要望は、早期に職員で検討しサービス向上に向けている。家族アンケートでは「連絡を頻繁にしてください、丁寧に対応してください」と感謝の言葉が寄せられている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価		○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								